

2024年度 一般社団法人日本看護技術学会
第3回理事会 議事録

日 時：2025年2月13日（木）18：00～20：00

会 場：WEB会議システム（ZOOM）

出席者（オンライン）：理 事；角濱春美（理事長）、若村智子（副理事長）、大久保暢子、加藤木真史、
佐伯由香、篠崎恵美子、高橋有里、藤井徹也、樋之津淳子、
前田ひとみ、山内豊明

監 事；岡田忍、茂野香おる

第22回学術集会長；矢野理香

第22回学術集会大会校代理；宍戸穂、出塚望

事務局；伊津野、中村

欠席者（オンライン）：監 事；茂野香おる

議 題；

報告事項

1. 前回議事録の確認

2024年度第2回理事会（書面）議事録を確認し、異議なく承認された。

2. 第22回学術集会の件

矢野理香前大会長と出塚望大会校代理より資料に基づき、学術集会開催報告と収支報告と監査報告書が提示され全会一致で承認された。

1) 開催概要

2024年10月26日（金）・27日（土）に札幌市教育文化会館にて開催

2) 参会者

最終参加者：567名

3. 第23回学術集会の件

若村智子学術集会長より資料に基づき、学術集会の準備状況について報告された。

1) 学術集会の開催報告

①開催概要

会 長：若村智子（京都大学大学院）

会 期：2025年10月11日（土）、12日（日）

場 所：京都大学百周年時計台記念館、百年記念ホール、国際交流ホール、会議室

テーマ：その繰り返しを受け継ぐ看護の技と心

シンポジウム：日本看護技術学会、看護理工学会、看護人間工学会の合同企画

審議事項として学術集会時の託児所の設置や託児施設への補助について提案され、今後の学術集会への検討事項として継続審議していくこととなった。

4. 第24回学術集会の件

大久保次期学術集会長より学術集会の準備状況について報告された。

1) 学術集会の開催報告

①開催概要

会 長：大久保暢子（聖路加国際大学大学院）

会 期：2026年10月11日(日)、12日(月・祝)

場 所：聖路加国際大学

5. 第25回学術集会の件

藤井次期学術集会長より学術集会の準備状況について報告された。

1) 学術集会の開催報告

①開催概要

会 長：藤井 徹也（豊橋創造大学）

会 期：2027年10月30日(土)、31日(日)

場 所：

6. 庶務報告

篠崎恵美子庶務担当理事より資料に基づき、2025年1月31日現在の会員状況、会員数の年次推移が報告された。

審議事項

7. 理事長審議：「安楽をもたらす看護技術についての調査研究」事業提案について

角濱春美理事長より資料に基づき、下記の通り議題が提示された。本学会の特別基金には川嶋みどり、菱沼典子両名誉会員から410万円の寄付を頂いた経緯があり、本特別基金を予算とし「安楽をもたらす看護技術についての調査研究」を新規事業として立ち上げる。期間は2025年4月～2027年3月の2か年間で温罨法班長の加藤木真史氏を長とし、技術成果検討委員会の「温罨法班」及び「気持ちよいケア班」の希望者、および理事等推薦による学会員有志メンバーを研究メンバーとする。以上の提案を受けて下記の通りの質疑があり、全会一致で承認された。

Q. 本研究は委員会が主導していくのか理事会が主導していくのか。

A. 2年間の間で理事の改選もあるため、あくまでも加藤木氏を長として理事会で進捗を発表してもらうこととする。

8. 理事長審議：選挙管理委員会規定の改定について

角濱春美理事長より資料に基づき、選挙管理委員会規程の改定について提示され、全会一致で承認された。現行の規定に不備があったための改定だった。

9. 次期大会長について

角濱春美理事長より2028年の大会長について推薦者がいる場合は、理事会終了後に理事長宛に連絡するように報告があった。

10. 会計内規の改定

佐伯由香理事より資料に基づき、会計内規の改定について、現行の会計内規では基本補償額が最低賃金を割ってしまうため、改定が提示され全会一致にて承認された。

11. 精算時の領収書について

佐伯由香理事より、委員会活動の清算に伴う領収書の受取について報告された。現在、委員会活動にて予算を使用した場合、領収書を提出してもらい清算を行っているが、極稀に領収書の提出がない委員がいるため、一般社団法人の会計として再度領収書が必要であるという認識の再周知を行った。

12. 庶務：定款の変更について

篠崎恵美子理事より資料に基づき、退会についての定款改定の議題が提示され、全会一致で承認された。改定前は「会員はいつでも退会できる」と定められていたが、この退会という意味が退会届を提出することなのか、会員資格を失うことなのか分かりづらいという指摘を受け改定することとなった。

13. 自動退会候補者の件

篠崎恵美子理事より資料に基づき、自動退会候補者が提示され全会一致で承認された。また自動退会候補者に送付する文章についても確認され、岡田監事より退会届を提出した退会者と会費を滞納した自動退会者を区別するためにも「退会」ではなく「会員資格の喪失」という文言を使用したほうが良いのではないかと指摘があり、自動退会通知の文章の変更が承認された。

14. 各種委員会活動報告と審議事項について

編集委員会（樋之津委員長）

樋之津委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告と 2025 年度活動計画と 2025 年度予算案が提示された。迅速査読の委員の依頼についてこれから委員を選定し依頼をかけていくことが報告された。

広報委員会（山内委員長）

山内委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告と 2025 年度活動計画と 2025 年度予算案が提示された。

技術成果検討委員会（大久保委員長）

大久保委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告と 2025 年度活動計画と 2025 年度予算案が提示された。22 回学術集会では 6 つの班が交流セッションを実施したことやキャラバン隊の活動報告がされた。また高橋副委員長より資料に基づき、看保連の診療報酬に関する進捗について報告があった。

研究活動推進委員会（藤井委員長）

藤井委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告と 2025 年度活動計画と 2025 年度予算案が提示された。また審議事項として、2025 年度最優秀賞・優秀演題・学術集会の際の表彰式に関して事務局へ業務委託を行うことが挙げられ全会一致で承認された。他に、第 22 回学術集会交流セッションの最優秀賞と卒業セッションの最優秀賞と 2025 年度の研究助成についても対象者が発表され、全会一致で承認となった。また上記審議事項内で卒業研究の交流セッションの発表の資格条件の部分について、「倫理審査の承認」について毎回問い合わせが来るので修正することが報告され、承認された。

倫理委員会（若村委員長）

若村委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告と 2025 年度活動計画と 2025 年度予算案が提示された。また今後委員会の活動活発化に向け、倫理委員会の規程の改定が挙げられた。また審議をしている際に、倫理委員会の規程内でさらに修正が必要と思われる部分があったため、次回理事会にて再度審議していく。

1 5. 2024 年度中間報告と 2025 年度予算の件

佐伯由香理事より資料に基づき、2024 年度中間報告と 2025 年度予算が報告された。また角濱理事長より、現在の 2025 年度予算は赤字予算となっているため各委員会より予算を見直せる可能性がある場合は、事務局に別途報告するよう報告があった。

1 0. 入退会審査

篠崎恵美子庶務担当理事より資料に基づき入会申込者 12 件、退会届提出者 33 件について提示され、承認された。

2025 年 2 月 13 日

議事録作成人： _____

(角濱 春美)

議事録署名人：

出席監事； _____

(岡田 忍)

(茂野 香おる)